

令和元年度学校評議員活動概要

活動時期	活動概要(意見聴取の概要、参加評議員数、対応方針等)
R1.6.22	<p>8名の出席(評議員4名、学校4名)</p> <p>概要説明</p> <p>ア、30年度末の生徒推移について、中学転入2名転出3名の110名。高校転出1の149名。 イ、教職員の年度末の異動で退職者6名、配置替1名。新年度任用替4名、採用5名。 ウ、行事について、基本変わりは無いが、北斗祭文化の部を「探究学習発表会」に変更。 中学3年生海外研修旅行は前年同様「香港・マカオ」とし、時期は10/30～11/6の8日間とする。 エ、部活動について、小さい学校ながら体育、文化共に中国大会、全国大会に出場。(テニス・音楽他) オ、卒業生の進路状況について、大学29名、短大1名、専門学校7名となった。 カ、今年度の学校努力目標は「みんなつながる」 個々の生徒が高みを目指して行けるような手厚い指導をする。 A. 規範意識が高く、安心安全な学校 B. 北斗の魅力作り C. 文武両道で新テストへの対応 D. 働き方改革(働きやすい環境作り)</p> <p>キ、生徒募集について、この数年苦戦している。 中学40名入学。生徒数252名。 ク、国際教育に力を入れており、鳥取県のJETに採用され、補助教員としてニュージーランドからの教師を配置。</p> <p>学校評議員より意見</p> <p>ア、北斗祭を「探究学習発表会」に変更するが、本校は幅広い地域から登校しているので、内容を米子に限らず他の地域にも広めてみてはどうか。例えば中海圏域とか。 学校…今後他の地域も含め考えていきたい。</p> <p>イ、学習指導の取り組みは。 学校…新学習指導要領に対応している。一人一人のプレゼン力を付けていく。 学習も大事だか、体を鍛えることも大事。</p> <p>ウ、高校募集への対応は。 学校…前年度中学への周知が遅く、本校の高校募集の認知度が低かったので、今年度は中学校での説明会をお願いしている。</p>
R2.3.7	<p>9名の出席(評議員 5名、学校 4名)</p> <p>概要説明</p> <p>ア、生徒募集としては、中学26名、高校5名の入学予定である。高校受験では成績上位者が受験してくれた。昨年同様オープンキャンパス、入試説明会を行ったが参加者数の減少に伴い、受験者数も減少。入学者の減少となってしまった。今後の課題として、募集先(小学校、中学校他)との関わりをもっと増やして中学生本人、保護者、先生方に北斗の魅力を伝えていかなければならない。</p> <p>イ、進路状況について、国公立大 東京大学1、神戸大学1、鳥取大学4、島根大学2 他2 私立大 早稲田、慶応、明治、関西大、関学、同志社、立命、他66の合格であった。</p> <p>ウ、部活動状況としては、剣道、バレー、テニス、ゴルフ、スキー、スケート、音楽部が全国出場。</p> <p>エ、中3海外研修旅行の行き先を「香港・マカオ」の国内情勢悪化の為、「台湾」に変更。2日短縮となったが、現地大学生との英語研修、歴史研修も行い有意義な旅行となった。</p> <p>オ、PTA活動について、北斗祭文化の部での PTA バザーが中止となったため、体育の部での開催と</p>

なった。収益は減少した。

学校評議員より意見

ア、高校からの入学生への対応を。高校からの受験は魅力になる。

学校…通常授業に加え、別授業を実施。中学からの内部入学者との差をなくす。

イ、これからは北斗の特色が求められる。何事にもスピード感を持って対応することが大切。

ウ、募集関係で小学生及び中学生、その保護者、学校に対してもっと「北斗の魅力」を伝えていかなくてはならない。